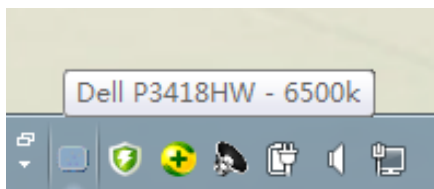


# Dellディスプレイマネージャーユーザーガイド

## 概要

Dell Display Managerは1台のモニターまたはモニターグループを管理するために使うWindowsアプリケーションです。表示された画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、画像の回転、選択したDellモデルのその他の機能を可能にします。一度インストールすると、システム開始時に毎回Dell Display Managerが起動し、通知トレイにアイコンが置かれます。この通知トレイアイコンの上にマウスを置くと、システムに接続されたモニターの情報がいつでも得られます。

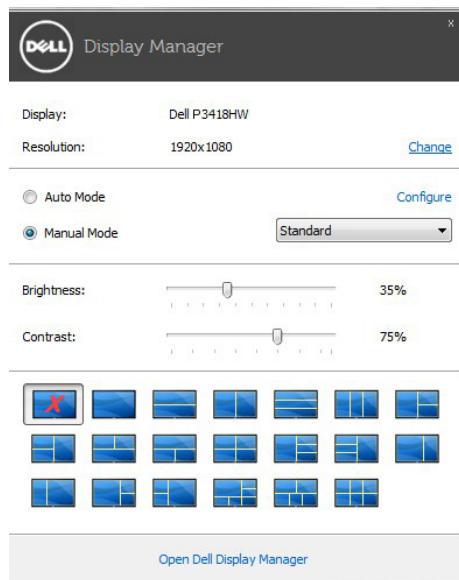


**注意:** Dell Display Managerは、モニターと通信するために、DDC/CIチャンネルの使用を必要とします。以下の通り、メニューでDDC/CIが有効になっていることを確認してください。



## クイック設定ダイアログの使用

DellDisplayManagerの通知トレイアイコンをクリックすると、クイック設定ダイアログボックスが開きます。2台以上のサポートされたDellモデルがシステムに接続されている場合、メニューを使用して特定のターゲットモニターを選択できます。クイック設定ダイアログボックスでは、モニターの輝度とコントラストレベルを便利に調整でき、プリセットモードを手動で選択するか、オートモードに設定し、システムの解像度を変更することができます。



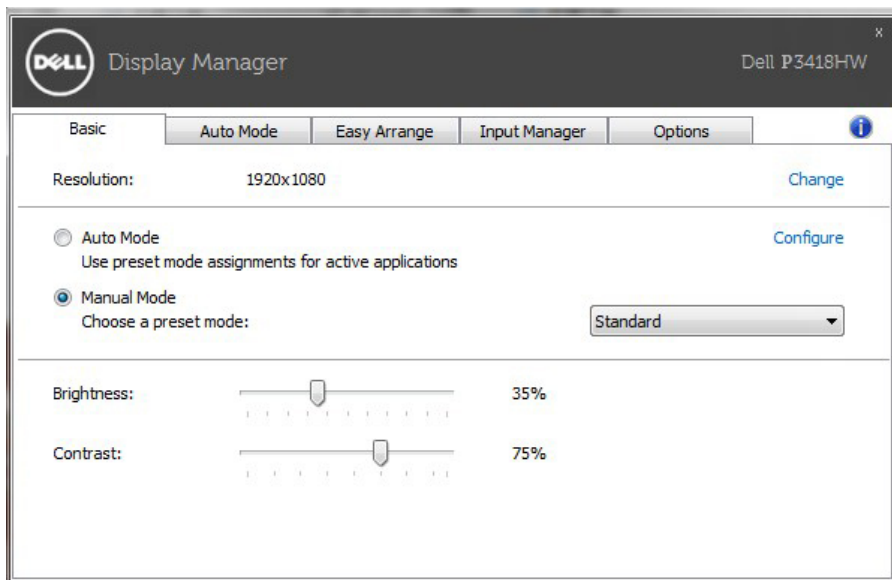
クイック設定ダイアログボックスはまた、DellDisplayManagerのアドバンスドユーザーインターフェイスへのアクセスを提供し、ベーシック機能の調整、オートモードの設定、その他機能へのアクセスに使用されます。



## ベーシックディスプレイ機能の設定

選択したモニターのパリセットモードをベーシックタブ上のメニューを使用して、手動で適用することができます。その他、オートモードも有効にできます。オートモードは、特定のアプリケーションがアクティブになったときに自動的に適用されるようにプリセットモードになります。モード変更の度に、一時的に現在のプリセットモードが画面上に表示されます。


選択されたモニターの輝度およびコントラストは、ベーシックタブからも直接調整できます。

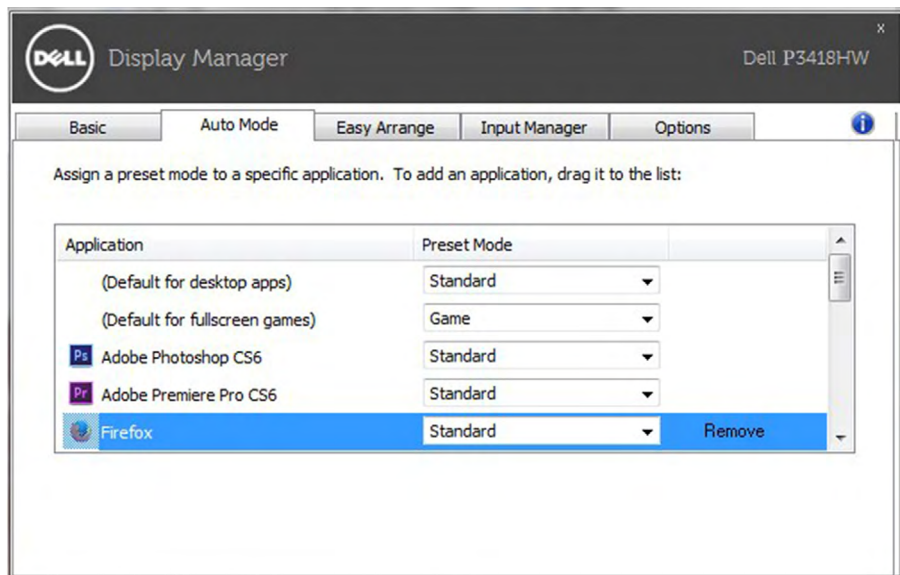


## アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

オートモードタブでは、特定アプリケーションに特定のプリセットモードを割り当てて、自動的に適用することが可能です。オートモードが有効な場合、DellDisplay Managerは関連するアプリケーションがアクティブであれば常に対応するプリセットモードに自動的に切り替わります。特定のアプリケーションに割り当てられたプリセットモードは、接続されているモニターすべてで同じ場合も、そのプリセットモードがモニターごとに1つずつ異なる場合もあります。

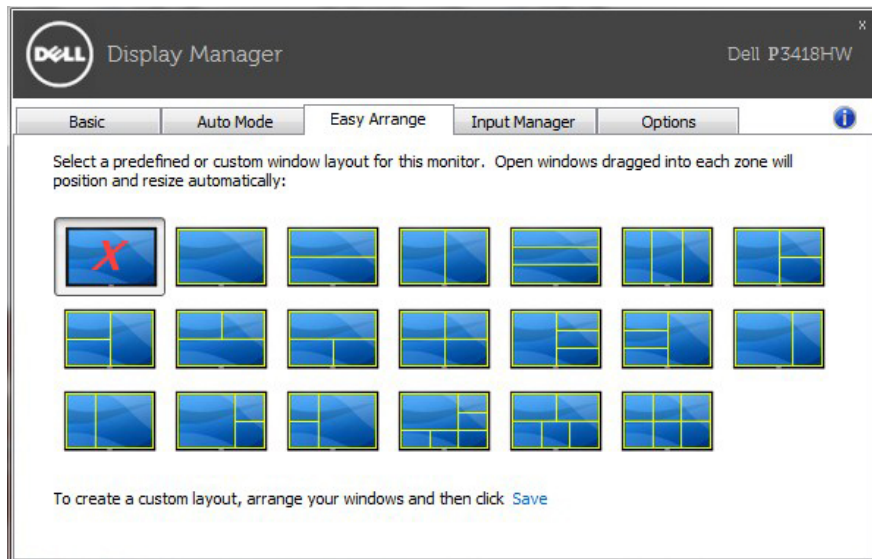
DellDisplay Managerは多くの有名なアプリケーション用に事前設定されています。割り当てリストに新規アプリケーションを追加するには、デスクトップデスクトップ、Windowsの[スタート]メニューまたは他のどこからかアプリケーションをドラッグして現在のリストの上にドロップします。

 **注意:** バッチファイル、スクリプト、ローダー、およびzipアーカイブや圧縮されたファイルのような、非実行ファイルをターゲットとするプリセットモード割り当ては無効となります。



## モニタウィンドウのレイアウトを容易に配列できます

サポートされるDellモニタでは、EasyArrange（簡単配列）タブで、開いている画面をゾーンにドラッグすることによって、あらかじめ定義されたレイアウトで簡単に並べ替えることができます。カスタムレイアウトを作成するには、開いた画面を並べ替えて、Save（保存）をクリックします。



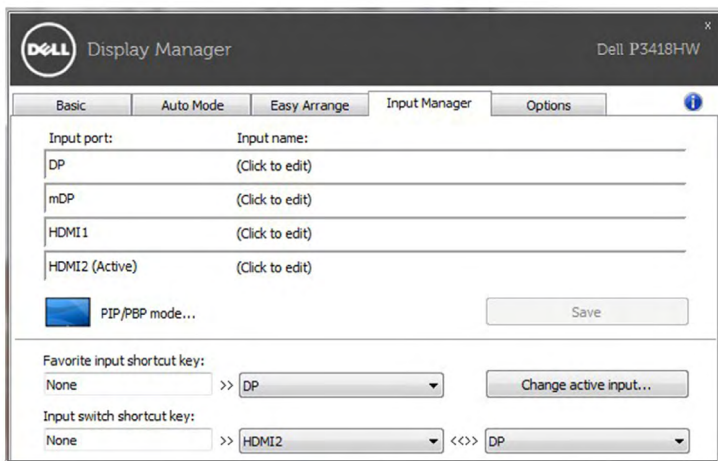
## 複数ビデオ入力の管理

InputManagerタブは、Dellモニターに接続された複数ビデオ入力を管理する便利な方法を提供します。複数台のコンピュータで作業する際、入力間の切り替えが非常に簡単になります。

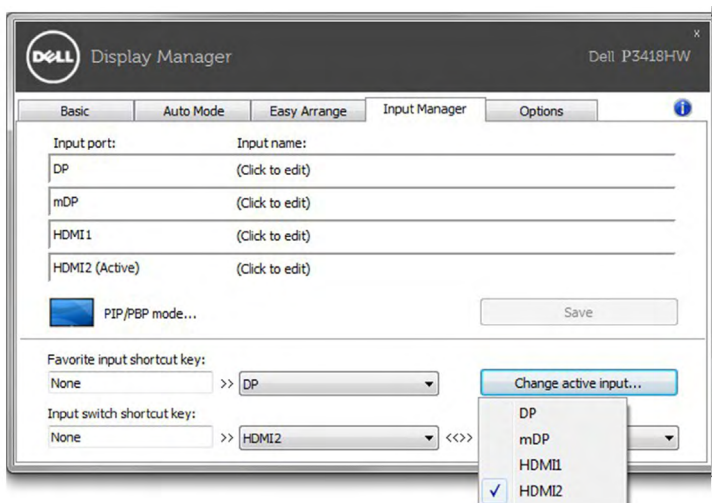
モニターで利用可能なすべてのビデオ入力ポートが一覧表示されます。各入力に希望する名前を付けることができます。編集後は、変更を保存してください。

お気に入りの入力に素早く切り替えるためにショートカットキーを定義したり、2つの入力を使って作業することが多い場合は、それらの入力間を素早く切り替えるために別なショートカットキーを定義したりすることができます。





入力ソースの切り替えにドロップダウンリストを使用することができます。



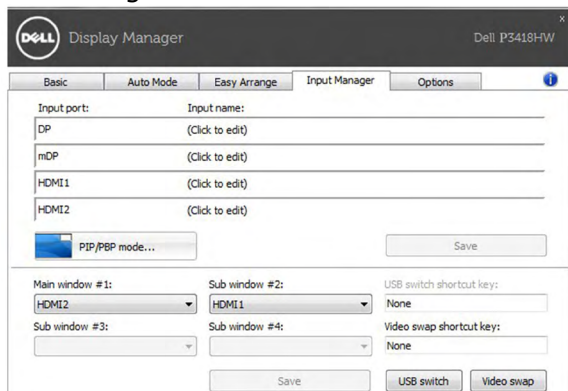
**注意:** DDMは、モニターが別なコンピュータからのビデオを表示している場合でも、モニターと通信します。良く使用するPCにDDMをインストールし、そのPCからの入力切替を制御することができます。また、モニターに接続される他のPCにDDMをインストールすることができます。



PIP/PBPmode (PIP/PBPモード) 選択ボタンをクリックして、**PIP/PBP**構成を選択します。



PIP/PBP (ピクチャインピクチャ/ピクチャーバイピクチャ) をOff (オフ) からPIP Small (PIP小)、PIP Large (PIP大)、PBP Fill (PBP全画面) に調整します。



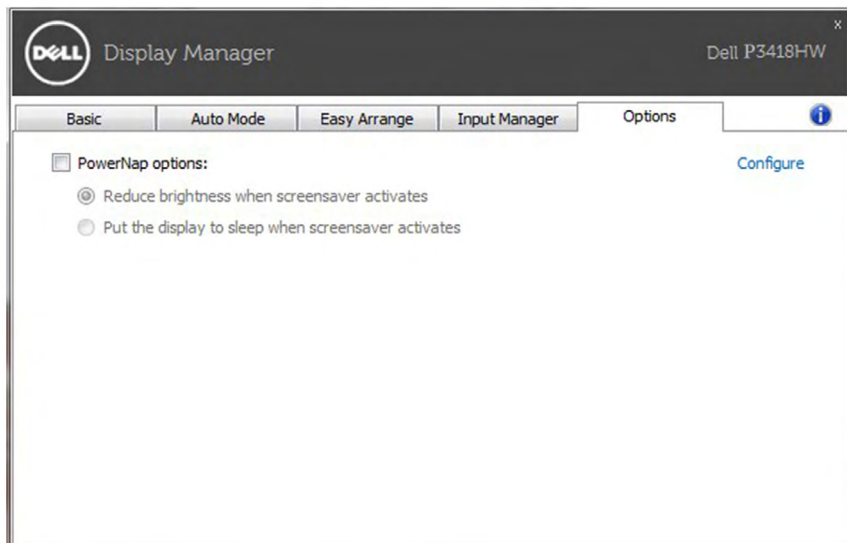
メインの画面とサブ画面のビデオ入力を選択できます。選択した後は、変更内容を保存してください。

メインの画面とサブ画面の映像をすばやく切り替えられるように、ショートカットを定義することができます。



## 省エネルギー機能の適用

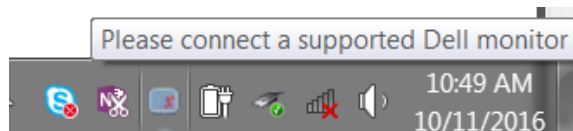
サポートされるDellモデルでは、PowerNap省エネルギーオプションを提供するために、オプションタブが利用できます。スクリーンセーバーが有効になると、モニターの輝度を自動的に最低レベルに設定したり、省電力のためモニターを休止状態に入れることができます。



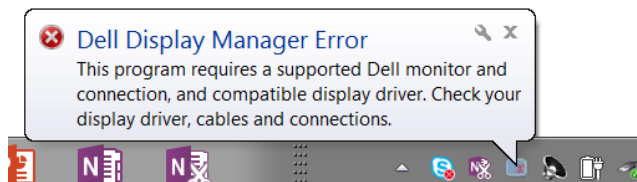


## トラブルシューティング

DDMが、ご利用のモニターで動作できない場合、DDMは、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



このアイコンをクリックすると、DDMは、より詳細なエラーメッセージを表示します。



DDMは、Dell製モニターとのみ動作することに注意してください。DDMは、他メーカー製モニターをサポートしません。

DDMが、サポートされるDellモニターを検出および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うため、以下の操作を行ってください。

1. ビデオケーブルがモニターとPCIに接続されていることを確認してください。特に、コネクタが所定の位置にしっかりと挿入されていることを確認してください。
2. モニターのOSDをチェックし、DDC/CIが有効になっていることを確認してください。
3. グラフィックスベンダー (Intel、AMD、NVidiaなど) から、正しい最新のディスプレイドライバを取得してください。多くの場合、ディスプレイドライバが、DDMの故障を引き起こします。
4. モニターのグラフィックスポート間のドッキングステーション、ケーブルエクステンダーまたはコンバーターを取り外してください。一部の低コストエクステンダー、ハブまたはコンバーターは、DDC/CIを適切にサポートしておらず、DDMの障害を引き起こす可能性があります。最新バージョンが利用可能な場合、デバイスのドライバを更新してください。
5. システムを再起動します。

DDMは、以下のモニターでは動作しない可能性があります：

- 2013年以前のDellモニターおよびDellモニターのDシリーズ。詳細情報については、Dell製品サポートWebサイトを参照してください。
- Nvidia-based G-sync技術を用いるゲーミングモニター
- 仮想ディスプレイおよびワイヤレスディスプレイは、DDC/CIをサポートしません
- DP1.2モニターの一部の初期モデルでは、モニターOSDを使って、MST/DP1.2を無効化することが必要となる場合があります



PCをインターネットに接続している場合、DDMアプリケーションの新しいバージョンが利用可能になったとき、メッセージがプロンプト表示されます。最新のDDMアプリケーションをダウンロード・インストールすることを推奨します。

また、「SHIFT」キーを押しながら、DDMアイコンを右クリックすることで、新しいバージョンをチェックすることができます。

